

令和5年度学校評価結果

学校名 佐賀県立高志館高等学校

達成度(評価)
A:十分達成できている
B:おおむね達成できている
C:やや不十分である
D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・新たな取り組みやPR活動を踏襲して生徒募集を行ったが十分な結果をだすことが出来なかったため、次年度も継続して学校の魅力発見・確認に努めるとともに、学校魅力の情報発信、通学しやすい環境整備、現代のニーズに合った学科編成の検討など生徒確保への取り組みを行い、「生徒が誇れる」、「保護者から信頼される」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい」学校づくりを引き続き行う。
・全職員が「OneTeam」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組み、農業の専門高校の特徴を活かした活動等を行い地域からも評価を得ている。また、コロナ禍の中、行事の精選や効率化を図りながらも生徒にとってより良い学校生活の構築に向け取り組んだ一年であった。また、3年生は、進路決定100%を達成し卒業することができた。

2 学校教育目標
校訓「高志深心の理念(高い目標を持ち、目標達成に向け邁進する態度と深い心を育てる)を指針として副育に努める。
① 学業の充実・基礎学力の定着 ② 基本的学習習慣の確立 ③ 生徒会活動、農業クラブ活動、部活動、ボランティア活動の活性化
④ 信頼される開かれた学校の推進 ⑤ 専門教科の教育内容及び施設・設備の充実

3 本年度の重点目標
スローガン「ステップアップ高志館」 ～マナーの向上と更なる成長を目指して～
○生徒が高い志を持ち、自らの可能性を信じて更なる「成長」を目指すよう、授業と部活動の充実を、生徒が力を試す挑戦の場を多く準備する。
○時代とともに技術は変化するが、身につけた精神は生き方を支えることを生徒に理解させ、さまざまな教育活動をおして学力やマナーを含む、社会に貢献できる「人間力」を身につけさせる。
○先が見えない時代にあっては、常に考え、課題を解決する「課題解決力」が備わっていることが必要であるとの認識を持ち、生徒に今は何をすべきかを常に考えさせ、責任を果たさせる中で自信を芽生えさせ、自立しようとする気持ちを育てる。

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

Main evaluation table with columns: 重点取組 (重点取組, 具体的取組), 中間評価 (進捗度(評価), 進捗状況と見直し), 最終評価 (達成度(評価), 実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者

Summary table for 重点取組 (重点取組, 具体的取組), 中間評価 (進捗度(評価), 進捗状況と見直し), 最終評価 (達成度(評価), 実施結果), 学校関係者評価 (評価, 意見や提言), 主な担当者

5 総合評価・次年度への展望
・新たに通学方法やInstagramによるPR活動に取り組んだが、すべての目標を達成することが出来なかった。次年度も学校魅力の情報発信、通学しやすい環境整備、地域と連携した取り組みなどに継続して力を入れ、「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創り、地域に根ざした学校づくりを引き続き行う。
・全職員が「高志深心の理念のもと、学校教育目標の実現に組織的に取り組み、農業の専門高校の特徴を活かした活動等を行い、地域からも評価を得ている。また、行事の見直しや効率化を図りながらより良い学校生活の構築に向け取り組んだ。
・生徒の主体的な活動に力を入れ、学校行事の再企画やInstagramの投稿など生徒自らが課題解決力を身につけながら、自信を持って自立できるような挑戦の場を多く準備したい。